

備前市立図書館等整備基本計画（案）パブリックコメントの公表について

備前市立図書館等整備基本計画（案）に対して、市民の皆様からパブリックコメントを募集しました。提出された意見の要旨と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきまして、ありがとうございました。

意見募集期間：：令和5年1月1日～1月31日

ID	意見の要旨	市の考え方
1	<p>サイクリングステーションや観光拠点についても考慮に入れた計画で、DX 時代にも対応する総合的な施設にして、備前市の未来の宝にして欲しいと思います。</p> <p>元市民センターの改修や利用方針も市民に伝えながら計画を進めて欲しい。（費用面では、図書館だけでなく現市民センターの費用面の目算も）</p> <p>児童向け、子育て世代向けの施設としては、旧アルファビゼンの計画案に「こども図書館」「おもちゃ広場」「親子交流広場」にその機能がある。人口が少なく、利用頻度が少ない現状の中で、近郊の2か所に同じ目的の施設は不要だと思います。</p> <p>同様に郷土資料についても旧アルファビゼンに図書館を作る計画にしてはどうか。旧アルファビゼンには、「NPO 等貸事務所、各種専門学校」のスペースをとってあり、「スタディエリア」もそういった学びの施設に併設していた方が利用されやすいように思います。</p> <p>不登校ひきこもり対策について、倉敷では、生活困窮者対応の事業として、その相談窓口と学習支援や居場所を同じ建物内で行えるようにして感心しました。旧アルファビゼンに福祉的活動の総合センター的な機能を持たせるような方針であれば、そういった機能が図書館機能とも連携して充実させていく方向に考えて欲しいと思います。</p>	<p>近い距離にあるアルファビゼンなど施設とは、機能分担を明確にし、整備運営計画をこれから決めていきます。</p>
	<p>計画にある6時までの開館では「スタディエリア」の役に立たないのではと心配します。運用面での工夫で、公民館開館の9時までそのエリアを利用できるようにしてほしい</p> <p>月に一度市民センターで「夜間学び直し事業」行われています。外国人労働者の人数が比較的多い備前市では、日本語教室のニーズが多いのではないかと。</p>	<p>開館時間については、今後、様々な用途での活用を踏まえ、検討します。</p>
	<p>子どもの居場所としてだけでなく、「ひきこもり」対策としての中高年の居場所活動もこの図書館機能をうまく利用して対策が進めばと思うので、運用面での工夫を市民協働で進めて欲しい。（公民館よりも柔軟に管理運営を市民団体に依頼するなどの方法で、利用しやすい施設にしたい）</p>	<p>様々な年齢、性別、境遇にある人々の第3の居場所として機能することを目指しています。</p>
	<p>「新しい図書館創ろう会」の計画にはサイクリングステーションや観光拠点の視点があり、素晴らしい。サイクリストが立ち寄り、観光面での情報がここで得られるようになれば、この地域に滞在し親しんで</p>	<p>観光面の期待が高いことを感じています。様々な場で市民参加の機</p>

	<p>もらえるようになり、関係人口も増え、移住者も増やしていく可能性も膨らむものになる。「創ろう会」での情報交換の機会を市民参加でコンシェルジュ養成などの流れを作るきっかけにして、常に語り合い、運用面での改善策などを相談し合う常に進化する図書館にしてほしい。</p>	<p>会を作り、情報共有、情報交換などを活発に進めたいと考えております。</p>
	<p>「まちじゅうどこでも図書館」について、連携し、情報発信もし、交流があるようなものにしていく必要がある。自動車図書館も含めて、巡回バスなどとも連携して、図書館に訪問し合えるような運用の工夫がほしい。</p>	<p>まちじゅうどこでも図書館の中心に位置する新中央図書館が“ハブ機能”を果たせるよう計画します。</p>
	<p>最近の若者は、YouTubeなども良く利用しているので、ひなビジョンなどで定期的に図書館の話題も含めて配信してもらうようにして、新しい時代の図書館を作っていって欲しい。</p>	<p>新しい時代のデジタル活用を検討します。</p>
2	<p>広い土地なので、備前市立図書館に隣接し、独立した建物に全国の名の通ったカフェとしてスターバックスを呼んでほしい。図書館の利用客だけではなくて、東備地域に住む高齢者の多くがコーヒーを飲み備前市に集合します。スターバックスがあると大変賑わうと思います。</p>	<p>カフェに対する期待値は高いと感じています。具体的にどの事業者が運営するのかは、今後決定することとなりますが、同一施設内のスペース貸しを検討しております。</p>
3	<p>岡山県では図書館横断検察が可能ですが、図書館の魅力とは何といても、眼前に広がる知の海に接する知的興奮を味わえることにあります。備前市にそれを実現してくれる図書館ができることは、とても嬉しいことですし、未来への希望です。</p> <p>設備や立地などよりも、機能を最優先にすることは、責任者の負う責務です。当基本計画案の記載どおり、備前市図書館条例の設置の目的のトップは、①市民の知的好奇心を支援する生涯学習の対象者は広く万人が対象であり、「生涯学習の拠点」「知の拠点」として、市民の方の知的欲求に応え、地域の課題解決を支援する役割を担います。とあります。ぜひ、これを見失うことない結論を導いてほしい。</p> <p>図書館は箱を作って終わりではない、そこから維持をし続けることこそが、整備基本計画の基本のキ。その大前提なしに、万人が対象の「生涯学習の拠点」「知の拠点」にはなりえません。</p> <p>何より駐車場と予算と職員の確保を継続的に維持してください。館内にLAN接続(=ネットを経由しないで、アクセスできる端末をたくさん置く。それとは別に、ネット接続可能な領域を別途ネットサーバー上に持ち、ネットでのアクセスが可能なアーカイブを置けば完璧です。最先端のイメージはループルです。</p> <p>公益社団法人日本図書館協会が、人口段階ごとの基準値として提案している「数値基準」があります。これを、P9の蔵書計画と照合すると、単独館として見るなら最低限に達していないが、全体でみるこ</p>	<p>整備で終わりではなく、そこから市民とともに維持発展していくことを目指しています。様々な基準や他の図書館の状況などを参考とし、ネット環境や開架についても設計業務の中で最適解を模索していきます。</p>

	<p>ともやむなしかもしれません。</p> <p>ただし、P16 の、開架スペースにおける、“最大 12 万冊配架可能なスペースを確保”は、やや不満です。あくまで将来を見越すなら、単館でも 12 万 4 千は最低限としてほしい。他の最低基準を配慮の上、職員スペースや今後の予算として現実的に充実した図書館をつくってほしい。P19 における“開館までの準備（４）市民との協働”の記載、“設計の段階においてより良いアイデアを取り入れていくことは極めて重要な工程です。今後も図書館建設において市民と協働しながら、この工程を進めていくこととします”が、過不足なく、文字通り実施されますことに心から期待しています。</p>	
4	<p>図書館設備がしっかりと整備されている町は非常に魅力的に感じますし、移住を考える一つの重要な要素となると思います。また観光の面においても、今や図書館が観光名所の一つとなり、地域内外から多くの人を引き寄せる施設になると言ってもよいかと思えます。</p> <p>片上に人を呼べる施設ができることは非常に頼もしいです。図書館整備を検討する上で、高知県の梶原町立図書館（雲の上の図書館）は、建物内部も非常に居心地が良く、実際に建築には梶原産の木材が活用されており、非常に自然を感じられる作りになっています。</p> <p>図書館一つで人が来る時代です。備前市の「今」もちろん大事ですが、これからの「未来」にどういった町をつくっていきたいか、を考えた構想にしてほしい。これからの時代を支えていく若い世代が、備前市に住んでよかった、もしくは外部の人が備前市に住みたい、と思えるような要因の一つとなる図書館でなければいけないと思っています。</p> <p>全国どこにでもあるような、可もなく不可もないような月並みな図書館ではなく、全国から注目をされるような何かに非常に突出した図書館を創り上げて行ってほしい。図書館をみなさんの力を合わせて創り上げてほしい。</p>	<p>図書館が、観光や移住など“外の人を呼び込む”うえで、重要な要素となっています。また、備前市に住む若い世代の定住を考えるうえでも非常に重要な施設となっています。梶原町立図書館についても、唯一無二の図書館として町民に愛され、町外の方の注目を集めていることは参考にします。</p>
5	<p>中高生が学習できるスペースを「ティーンズエリア」に設けるとのことであったが、社会人が学習できるスペースも「スタディエリア」などに設けていただけるのか？「スタディエリア」の部分を見せると、図書館の資料を使った調査・研究しかできないのではないかと感じる。例えば、資格の勉強に活用できるスペースがあるとありがたいので、学生以外も利用できる学習スペースをある程度の広さで設けて欲しい。仕事帰りに図書館に寄れると嬉しいので、18 時以降も開館していただくとありがたい。</p>	<p>中高生だけではなく社会人が資格取得などに利用できる学習スペースも検討しています。また、開館時間の延長についても検討します。</p>
6	<p>自習できる場所があるとありがたいです。</p>	<p>自習などに活用できるスペースを確保します。</p>
7	<p>理念に掲げられている”全ての市民が多様に使うサードプレイス”、“市民参加でまぶしい図書館”は、あるべき姿として素晴らしい。</p>	<p>まちじゅうどこでも図書館構想及び子ども読書活動推進計画の中</p>

	<p>図書機能の充実には、本、読書に親しむ環境づくりも大切。この時代読書習慣を身につけることはそう簡単ではない。児童生徒の発達段階や実態に応じた取り組みも推進して下さい。また、学校と市立図書館とが連携した取り組みも必要。学生による図書館オリエンテーション、児童の読書マイスターなど本と親しむ環境づくりをお願いします。</p> <p>「まちじゅうどこでも図書館」の中心として市内の公的施設や私設図書館と連携を図るとありますが、是非積極的な支援・連携をお願いします。既に開設されている「ご近所図書館」を集め情報交換を行うなど今できる支援もお願いします。</p> <p>複合施設は大賛成です。旧アルファ跡地施設、既存の市民センター、歴史民俗資料館などと有機的に結びつき、ゾーンとしてのシナジーを発揮することが大切だと思います。ホール機能など、既存施設との多少の重複は避けられないが、それぞれの機能・役割についても説明してほしい。</p> <p>現在のサイクリングターミナルは駐車場でしかなく移転新設はありがたい。自転車は健康志向、環境意識の高まりから年々脚光を浴び、サイクリストは増加しています。休日の「片鉄ロマン街道」は他県からのサイクリストも加わり賑わっています。サイクリストに必要な機能を備え、日本遺産を巡るサイクリングコースの作成など補完施策も合わせて実施して欲しい。</p> <p>最後に、”設計の段階においてより良いアイデアを取り入れることは極めて重要な工程であり、市民と協働しながらこの工程を進めていく”とあります。是非その段階で市民との意見交換の場を設けてほしい。</p>	<p>で、新中央図書館は中心的な役割を担う存在になることとしております。</p> <p>また、周辺施設とうまく機能分担を図ることで、相乗効果を図ることができると考えておりますので、市民の皆様のご意見を聞きながら進めていきます。</p>
8	<p>隔週で備前市民センターの図書館に行き、6歳の娘と児童書を選ぶため利用。</p> <p>今おられる司書の皆様が引き続き正規雇用された上で備前市の本を守り、皆様一律で司書として正規雇用していただきたい。批判を真摯に受け止め、改善案を出し、次世代に受け継いでいってくださる職員さんが図書館にいれば、今後何十年と続く箱として生まれた図書館も、中身がしっかり詰まった、本来の意味での図書館になっていくはずです。本のプロにより、本が大切に扱われ、それを誰もが利用できることを望みます。</p> <p>飲食しながらの図書の閲覧や全面ガラス貼り図書館に対する批判を多く感じる。他の図書館にヒアリングし、現時点で問題が生じているのかを受けて、カフェ併設した場合の飲食スペースをどこまでにするのかなど、備前市図書館としてのルール明確に決めてほしい。本を愛する方々はヘビーリピーターでもあります。全国の現場の声を参考にしながら、言葉と対応で安心させてほしい。</p> <p>「和歌山市民図書館」では、蔦屋書店さんが運営に入っているから、お正月にも休館日がなく年中無休。夜は21時まで開館するスタイルで職員の方々が非常に疲れてしまっている。私は、今まで通りの開館</p>	<p>専門職である司書の雇用については、定員計画などとの整合を図りながら必要な人員の配置を目指します。運営ルールは他館を参考に、設計時から検討します。</p> <p>開館時間などは今後、十分に検討します。</p>

	<p>で十分だと思います。市民の利用数アップも大切ですが、会館時間を無理に広げて運営に負担をかけてしまうのは本懐ではありません。利用者も、図書館で働く方も、一緒に笑顔で過ごすことができる図書館ができるよう、切に願っております。今新しい、ただではなく、これからずっと続く未来に向けての図書館として、非常に楽しみにしております。</p>	
9	<p>昨今「3rd プレイス」はよく耳にする言葉となってきましたが、新図書館の基本理念が意味する「サードプレイス」とは何なのかをご教示ください。</p>	<p>家や学校・職場などではない第3の居場所という意味で使っています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 「まぶしい図書館」とは具体的に何を指しているのかをご教示ください。また「M,A,B」を多用している意味をご教示ください。 	<p>“まぶしい”という言葉は、新しいだけでなく、憧れなどのイメージする言葉として使っております。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年に作成された基本構想のP5「(3) 目指す図書館像」と今回の基本計画のP7「(2) 新図書館の図書館像」との整合性についてご説明ください。 	<p>基本構想の図書館像を踏まえ、創ろう会のなかで基本計画の図書館像を検討しました。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 「ActiveZone」には運営管理の必要なエリアやカフェやサイクリングステーションを計画との事ですが、現時点で他Zoneも含めて、どのような運営管理体制を計画されているのか？ご教示ください。 	<p>設計業務の中でゾーニング検討を行い、その過程で運営体制についても詳細を決定します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 実施設計ではハード面とソフト面の具現化が必要。開館までの準備に「(1) 設計者選定方法」が記述されています。この設計者がプロポーザル方式により提案する範囲をご教示ください。 	<p>基本設計及び実施設計です。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> すでに全国的に民間による運営管理で来館増員を狙った施設は数多く存在し、現在はそのメリットよりデメリットについて議論されるケースが増加していると言われていています。つまり公共施設としての図書館の意義を見失った施設が増えていると推測します。今一度「図書館という施設の本来にあるべき姿」を大事に考えていただく事を希望します。 	<p>図書館はどうあるべきかについて、この基本計画を始め、サービス方針の策定でも十分に検討します。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 開館までの準備に「(4) 市民との協働」と記述されています。本来の「協働」という言葉の持つ意味をお互いに再確認し、計画を進めてく事を切に願います。またそのための時間を十分に持っていただくように希望します。 	<p>市民と協働する時間を開館までに十分とります。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> 図書館に質の高い司書が常駐して、自分の専門分野が活かせる蔵書をそろえてほしい 話しやすい職員がいること 知りたい事やわからない事を司書に相談した時、資料や本などで解決できる知的な拠り所となる図書 	<p>図書館整備とともに、司書の育成も進めていきます。</p>

	<p>館であってほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館に行くと、自分と同じような知的好奇心を持った人が集まっていて、議論ができる場を提供されれば良いと思う ・セミナーや講演会などのイベント、おすすめや特集なども行い、図書館に行くことの魅力を増やしてほしい ・専門性を高められる場となるよう専門性の高い人(例えば、教育に携わって来た方や専門の趣味を持っている人など)が、ボランティアとして、セミナー形式の会を開催してはどうかと思う ・郷土の情報、資料、歴史、文化などの集積の場であってほしい <p>・いつ行っても気持ち良い空間、綺麗な館内で、用がなくても気軽に寄りたくなる図書館になってほしい</p> <p>・余裕があるならば、座り心地の良い椅子やソファがあれば良いと思う</p> <p>・返却できる場所として、24 時間対応できるコンビニに返却 BOX を数箇所設置するのも一案ではないか</p>	<p>単に本を借りる場ではなく、郷土資料を身近に感じ、講座などを通じ様々な情報に触れることのできる場を検討します。</p> <p>誰もにとって居心地の良い場所となることを目指します。</p> <p>検討します。</p>
11	<p>アルファビゼン跡地の活用も含め役割分担など様々な検討を実施されているかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新図書館の理念と基本方針について 公共の施設であるため、すべての市民を対象していることは理解できますが、このままでは総花的な施設になり「すべての人が使いやすい施設」を目指したはずが「多くの人が使いにくい」施設になってしまう可能性もある。 <p>“平等なサービスの提供”ではなく“学ぶ機会を公平に保つ”ために子育て世代、学生またはシニア層など特定世代をより重視・集中した施設及びサービスが必要かと感じました。“何に集中し何を重視しないのか”をもう少し整理していただけるとより一層素晴らしい図書館になるのではないかと感じました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 話題と自慢になる図書館 訪れるきっかけとなるために優れたデザインの建築であることは非常に重要。見た目の良さにも配慮していただくと貴重な観光資源にもなる。 ● 滞在・交流スペースの充実 図書館の利用に加え、市民の滞在・交流スペースの充実が必要。ただし、机と椅子があるだけのようなものではなく、いろいろな工夫を希望。 ● 集って映像を鑑賞できるホール 市内には映画館がないため、多目的に使用できるホールに大型のスクリーンとプロジェクターを設置していただくと、人が集まる機会をより多く設けることができるのではないか。 ● テナントスペースの設置 地域で新しくお店をオープンしたい人などが低予算・低リスクで出 	<p>公共施設において、総花的なのか、選択と集中をとという点についてはバランスが非常に需要であると考えています。市民との対話の中で最適なバランスを検討します。</p> <p>今後の設計協議やサービス方針作成のための有用な提案をいただきましたので、参考にさせていただきます。</p>

	<p>店ができるようなテナントスペースを希望。また、キッチンカーなどが出店できる屋外スペースも設置を希望。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民参加型の施設 図書館の新設への参画意識の向上と以降の利用者の増加のため、図書館の建物自体に親近感を持ってもらえる企画を希望。 ● 専用サイト・アプリの整備 利用促進や施設の予約、資料検索のためのデジタルサービスは非常に重要であるため、視認性と利便性が高い専用サイト・アプリの整備を図書館の新設に合わせた整備を希望 ● 駐車場について 子連れの利用者のことを考慮し、十分な歩行者用通路の確保と表記を希望 	
12	P4 歴史民俗資料館、埋蔵文化財管理センターとの役割分担について明確に	歴史民俗資料館及び埋蔵文化財管理センターの所蔵物は、備前焼ミュージアム、旧アルファビゼン、新図書館でそれぞれ分担します。
	P5 図書館利用者が利用できる大型ホチキスや厚手資料用パンチなどの機器をそろえて欲しい	検討します。
	P5 「幅広い年代の情報ニーズ」は「市民の多様なニーズ」が適切では	修正します。
	P9 新聞・雑誌が少ない。特に雑誌が少ない	新図書館整備に向け、雑誌スポンサー制度の導入など資料の確保に努めます
	P9 貸出冊数だけでなく、閲覧を含む利用者数が重要では	利用者数の把握は重要であることから、まずは計測方法を検討します。
	P15 ホールについて、現市民センターや旧アルファビゼン施設との役割分担が必要である	周辺施設の役割分担・機能分担をしっかりと協議検討します。
P19 市民との協働・・・最大の眼目である。「新しい図書館ができた」では市民の関心がどこまで高められるか不安。参画することにより、市民の関心を高めて欲しい。早急に参画の場を作って欲しい。高校生や中学生にも多くの参画の機会を。	多くの世代が集まる参画の場を設け、「広報びぜん」やホームページなどを通じて市民参画の機会を広く案内したいと考えます。	
13	図書館の中に市民センター講座室の半分程度の大きさのギャラリーを併設してほしい。また、そのギャラリーの近くにカフェがほしい。	設計協議のなかで検討します。
	有能な図書館司書の配置が特に重要。図書館司書が岡山県立図書館など他の図書館との連携において、	司書の採用、配置、育成に努め、他

	ネット連携の中で情報検索などをしてほしい	の図書館との連携も強化します。
	もちろんバリアフリーをお願いします	設計においてバリアフリーは必須としています。
	優秀な図書館を見学してください。色々なアイデアが生まれます。	様々な実例から学ばせていただきます。
14	図書館の中に、レコードプレーヤー、CD、DVD、BD等で、朗読とか音楽が聴ける場所を作ってください。	設計協議の中で検討します。
	次の「サイクルセンター」を設置するためにも軽食喫茶を作ってください。	カフェスペースを設けます。
	<p>「サイクルセンター」(※1)について希望を述べさせていただきます。</p> <p>県は「片鉄ロマン街道」を中心に津山から日生までの自転車道の整備をしている。現在の西片上峠地区に有るサイクルセンターに自転車を運ぶ車を駐車しているが、自転車が終われば、峠地区はもちろん片上商店街にも何も無いので、直接帰ってしまいます。</p> <p>和気地区で食事をして帰り、片上地区には何の恩恵も無い状態です。</p> <p>遊技場跡地にサイクルセンターを設置することで、駐車場が広くなり、市内外から自転車に乗せた車が多く来て、利用が多くなると思われる。また、片上を中心にした、いくつかのサイクリングコースを作り、電動自転車を含むレンタサイクルを置けば、市内外から自転車ライダーが来てくれて、各地で何か購入してくれば地区の活性化につながります。</p> <p>そのために、図書館を中心にした複合施設に、老若男女が憩える場所として、「軽食喫茶店」とか、「道の駅」のような地域の産物を売買できる場所を作れば、一般市民も、自転車ライダーの人流は増えて、片上の活性化につながると考えられます。日生へのコースが整備されれば、海が見えるコースなので今後増えると思います。今でも「カキオコ」を食べにくるライダーは多いです。</p> <p>※1 冬期の現サイクルセンターの利用は、平日が10数台、土日が20数台だが、春・夏・秋期は倍ぐらいに増える。</p>	<p>新図書館（サイクリングターミナル）がサイクリングを始め、観光の拠点となることを目指しています。サイクリングコースの設定については、新サイクリングターミナルが出発の地や中継地として役割を果たせるよう、関係各所と協議します。</p>
15	<p>理念と基本方針については、理解できる。</p> <p>しかし、建設予定地は理念や基本方針に結び付かず、リスクが大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の予定地においては、水害・塩害などの災害を吸収するものが見えだせない。片上の町ではインフラの関係で展開できるのは「備前片上駅」周辺である。高地で安全性、交通利便性、人口増、自然の取り入れが可能である 	海沿いの立地であるため、設計段階から、高潮などの災害被害のリスクを十分に考慮した施設整備について検討しています。また、駐車台数の確保についても同様に検

	<p>・市民ホールの後目も進めず、県単位の集会、催し会などの利用では駐車場の完備が必須となるため不適</p> <p>附帯として「行ってみよう起し」に名物（品）産店など一方での目玉が必要。</p> <p>持続可能となる計画・運営をするには理念・基本方針にそえる再度の見極めと決断で予定地変更の勇氣ある行動の考えを（防災上の名の元、変更をかける）。</p>	<p>討します。</p> <p>なお、現時点では、建設予定地の変更は考えておりません。</p>
16	<p>備前市の図書館が生まれ変わること、期待を持って応援しています。</p> <p>■備前市の文化の顔・エリアマネジメントの拠点として 図書館は、その街の文化の顔と言える場所。</p> <p>1.郷土の文化芸術・産業にスポットをあて、魅力的に伝える場所となる企画</p> <p>2.市外、国内外の文化芸術も紹介し、市民の文化感度を上げる場所となる企画</p> <p>など、良質な展示・プロジェクト・文化交流が行われる場所になってほしいです。基本計画からはまだ2のような新しい風を感じる事ができない。古き要素・新しき要素の両方を取り入れながら、様々な文化を発信する場を作ってほしい。</p> <p>■ハコだけでなく、ソフトパワーのある図書館へ</p> <p>地域内外の人が関わる「関わりしろ」を計画的につくれる人材に運営参加してほしいです。司書の方の協力ももちろん必要ですが、彼らの本分は蔵書の適切な管理です。それとは別に、図書館という場を活性化させ、地域内外にその存在を魅力的にPRする専門人材がこれからは不可欠。コミュニティマネジメント・エリアマネジメント・PRに造詣の深い人材に運営に参画してもらい、継続的に寄り添ってもらうことも必要。</p> <p>■情報アクセス・交通アクセスについて</p> <p>情報発信やアウトリーチにもぜひ注力を。WEB や SNS を活用した発信も、ローカルに根ざした発信も、どちらも大切に組み込む。</p> <p>働き盛り or 子育て中でなかなか出かける機会がない大人のためには、WEB や SNS を活用した発信を。知的好奇心があっても、自由に移動したり情報にふれたりする機会が少ない子どものためには、学校や駅やクラブを通じた発信を。</p> <p>また「図書館に行きたい！」と思ったら、車がなくても、子供やシニアでも気軽に訪れられるような、交通アクセスの整備もできればお願いしたいです。</p> <p>■アルファ備前内の図書スペースとの差別化</p> <p>以前、アルファ備前の跡地活用の資料で、アルファ備前内にも図書スペースをつくる構想があると拝見しました。そこの差別化・連携はどのようになるのか？互いの場の特性を活かし、相互に行き来が生</p>	<p>新図書館が文化の発信拠点となるよう、他の市内公共施設との連携も含め、サービス計画などの中で検討します。</p> <p>地域内外の人との「関わりしろ」は非常に重要な要素と考えています。また、専門人材の活用については、司書に限らず、幅広く検討します。</p> <p>現在はInstagramを中心に図書館の情報発信に取り組んでいます。また、子供たちに対してはときめきナビなどにより発信しています。</p> <p>交通アクセスについても、市営バスを中心に検討します。</p> <p>お互いの機能分担について、連携をとり相乗効果が生まれるよう検討します。</p>

<p>まれるような活用方法を期待しています。</p>	
<p>■「いずれはUターン移住を」と考えますが、いざとなると決意が鈍ります。1番の理由は「文化芸術から遠のいてしまう」という感覚があるからです。でも、だからこそ「Uターン移住しても、文化芸術にふれられる環境がある。最先端の知やカルチャーに触れられる場所が備前にもある」と感じられるようになれば、迷いなく帰ってこれると思いました。</p> <p>今回の図書館構想をはじめ備前のまちが変わろうとしていると聞き、ぜひそう思える場を作ってほしい。</p>	<p>市では、魅力あるまちづくりを目指し、複数の大型施設の整備に取り組んでいます。</p>